

安心して暮らせる集落づくりに ついで

大野 栄光



ついでには、地元自治会長と相談し、地元の総意としての要望となつてから現地調査を行うこととしていた。

〔質問〕深谷北区地域は70戸からなる集落で、病院や学校にも近く住みよい地域であるが、集落内は狭い枝線で緊急車両の進入等も難しく不安を抱いている。

地元の人たちは、安全な幹線道路として市道不動沢線の整備を要望しているが、当局はどのような考えなのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕市政に掲げている「住みたいまち・住み続けたいまち」の実現に向けては、道路等のインフラ整備も市民生活の基盤として重要な要素であると認識している。

市道不動沢線整備に

ントであった。

しかし、今年の夏まつりは少し事情が違い、突然白石の夏の夜から市民が消えたような気がする。

にぎわいと踊り手が消えた残像だけが残る思いは私だけなのか、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕今年には残念ながら商工会議所が実行委員会の事務局を降りられたことから、何とか夏まつりを開催していただきたいという思いで、さまざまな団体にお話をさせていたただいた。

引き受けの申し出があり、それに賛同する形でいろいろな方々から協力をいただきながら開催されたことは、非常に感謝している。

やれる形で協力してやっていこうという心意気を感じられ、すばらしい夏まつりだったと感じている。

〔その他の質問〕

◎河川の護岸について

スマートインターチェンジの設置 について

角張 一郎



乗効果を生み出すための、いわば地域活性化の起爆剤と考えている。

〔質問〕スマートインターチェンジの必要性、設置後の効果をどのように考えているのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕今後、さらに人口減少や高齢化が進んでいく中、若い世代が安心して働き、子育てのできる地域環境の構築が必要であると考えている。

そのためにも地域間ネットワークを強化するための幹線道路など、社会基盤整備は必要不可欠である。

特にスマートインターチェンジの整備は、交流人口の拡大や円滑な物流の確保など、地域間の相互連携により相

乗効果を生み出すための、いわば地域活性化の起爆剤と考えている。

コストを抑える経済性などを総合的に評価して選定する考えである。

〔質問〕スマートインターチェンジ周辺の整備について、どのようなイメージを持っているのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕新たな工業団地の造成については、位置や規模等の検討をスマートインターチェンジの整備と同時に進めなければならないと考えている。

スマートインターチェンジの設置を含め、インフラ等を整備することにより、本市の新たな未来地図を描くというイメージである。

企業立地も含め、民間企業等が投資を考えるとときに、本市を選びたいとなるまちとなるよう、アクセシビリティを十分に考慮し、スマートインターチェンジの価値を最大限に活用できるように検討していきたいと考えている。